

# 子牛育成飼料給与マニュアル

(H28.3月改訂)

今回、牛の改良や粗飼料の実情に合わせてマニュアルの改訂を行いました。

～ 生後3カ月間が重要、「制限哺乳」や「人工哺乳」に取り組み、えづけ摂取量を高めよう！～

◎出荷目標 去勢 日齢250日 体高115cm 体重280kg 雌 日齢260日 体高113cm 体重265kg

## 子牛育成飼料給与マニュアル

注: 自給飼料(イタリアン)・バムューダ乾草での給与例です。給与量は、原物重量で表示しています。

去勢	生時(月) (日齢)	2カ月離乳			生 後 月 齢					出荷目安	
		1	2	3	4	5	6	7	8		
1日当たり 給与飼料量 (kg)		0.1	1.7	3.0							
えづけ飼料											
育成用飼料					3.5	4.5	4.0	4.0	4.0	4.0	
良質粗飼料(乾草)		0.015	0.2	0.3	1.3	1.5	3.0	3.5	4.5	5.0	
体高の目安(cm)	73	80	86	92	97	102	106	110	114	115	
体重の目安(kg)	35	56	80	107	139	171	203	236	269	280	
濃厚飼料と粗飼料の割合		9:1			7:3		4:6				

  

めす	生時(月) (日齢)	2カ月離乳			生 後 月 齢					出荷目安	
		1	2	3	4	5	6	7	8		
1日当たり 給与飼料量 (kg)		0.1	1.6	2.6							
えづけ飼料											
育成用飼料					3.0	4.0	3.5	3.5	3.5	3.5	
良質粗飼料(乾草)		0.015	0.2	0.3	1.2	1.5	3.0	3.5	4.0	4.5	
体高の目安(cm)	69	77	84	90	95	100	104	108	111	113	
体重の目安(kg)	30	51	75	102	130	158	187	215	243	265	

① 制限哺乳

② えづけ飼料の増

③ 2カ月離乳

5カ月までは濃厚飼料

その後は粗飼料多給が基本

### 子牛の第1胃の変化

えづけ飼料が胃を育てる



★良い給与法  
ミルク  
えづけ飼料

⇒ 絨毛の発育良好!



ミルク  
乾草

⇒ 絨毛の発達不十分



ミルクのみ

⇒ 絨毛の発達不十分

### 飼料給与のポイント

### 濃厚飼料と粗飼料の給与パターン



離乳の目安は、えづけ1kg以上摂取!

えづけから育成飼料への切替は、10日以上かけてゆっくり!

粗飼料多給(濃厚飼料制限)で、胃袋作り!

3カ月齢まで

えづけ飼料: 乾草 = 9:1

えづけ飼料重視

※えづけ飼料で子牛の体の発育と第1胃の絨毛の発達

4~5カ月齢まで

育成飼料: 乾草 = 7:3

5カ月齢は育成飼料最大給与

※5カ月齢は骨格が最も発達する時期

6カ月齢以降

育成飼料: 乾草 = 4:6

粗飼料を多給 濃厚飼料を制限

※骨格づくりの後は、粗飼料で胃袋づくり

### 制限哺乳で、えづけ飼料の摂取量を増やしスムーズな離乳

制限哺乳とは・・・  
哺乳回数を1日朝夕2回に制限する方法(生後1ヶ月頃～)

朝(15分程)		夕(15分程)	
隔離	哺乳	隔離	哺乳
	隔離		隔離

★えづけ摂取量を高め、2カ月齢離乳がスムーズに。母牛の発情回帰にも効果あり。

★新鮮な水を十分飲める環境



★頭数に合った飼槽の長さ 食べやすい高さに調整



★乾草は複数回細断 (1~2cm)



飼料給与量は目安です。子牛の発育状況に応じて増減して下さい。ただし給与量を増減する場合も濃厚飼料と粗飼料の給与割合を守りましょう。